

【令和４年１月８日 新年互礼会より抜粋】

年頭に当たり、一言 ご挨拶を申し上げます。

さて、２０２２年の新しい年を迎えました。

「今年１年」城北地区にとって、どんな年になってほしいのか。

また、何を目指すのか 漢字一字で表現すると どんな漢字になるのか？と考えてみました。

頭に浮かんだのは、賑（シン）という漢字でした。

音読みで「シン」。

訓読みで「にぎわう」と読みます。

活力があって 元気で 賑わいのある城北であってほしいと思いました。

もちろん、その前提には「安心・安全」が担保され、同時に、顔の見える人間関係が構築され、行政と地域が役割分担し 賑わいのある地域作りをすすめることは重要です。

同時に、賑わいを作り出すイベントや事業を実施することが重要だと考えました。

城北地区は昭和45年に結成され、５０年余りになりますが、その間『８大イベント』として、各種事業を実施してきた実績があります。

しかし、コロナ禍で、ここ２年間は、中止・延期となったものが数多くありました。

中止や延期になることで、地域の人間関係が希薄になり、地域に活力や賑わいを失ってきたように感じています。

中止することは簡単です。中止する理由もいくらでも思い浮かびます。

重要なことは、その状況の中で 知恵を絞って課題を明確にして事業を検討し実施していくことだと考えます。

本日、ここにお集まりのみなさんは、地域活動の実施に向けて、中核となって企画・運営される みなさんです。

年頭にあたり、たいへん僭越ではありますが お願いを申し述べさせていただきます、 新年の ご挨拶とさせていただきます

賑わい作りに みんなで汗を流しましょう。 以上で、終わります。

